

様式4 履歴書の記入要領 (甲・乙 共通)

記載例

*区分及び性別は、いずれかに○印を付すこと。

履 歴 書	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">区 分</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-left: 5px;">甲</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-left: 5px;">乙</div>	
<p>ふりがな 氏 名 生年月日</p>	<p>(例)</p> <p>きゅうだい たろう ホァンツ ウェイ モハメッド アブドゥル 九大 太郎 Hyang Chih Wei Mohammed Abdul Kyudai Taro 黄 志 偉</p> <p style="text-align: right;">男</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">女</p> <p>*生年月日：和暦及び西暦で記載する。 平成2（1990）年1月1日</p>
<p>本 籍 (都道府県名)</p>	<p>*都道府県名のみを記載 *外国人の場合は、国名を記載する。(在留カードにある国名等)</p>
<p>現 住 所</p>	<p>〒□□□-□□□□</p> <p>*正確な住所を記載する。</p>
<p>学 歴</p>	<p>平成24年3月25日 九州大学△学部△△学科卒業</p> <p>平成24年4月1日 九州大学大学院△学府△△専攻修士課程入学</p> <p>平成26年3月25日 同上 修了</p> <p>平成29年4月1日 九州大学大学院○学府○○専攻博士後期課程編入学 現在に至る</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> *九州大学における大学院入学・進学の区分に注意。 *平成11年度入学者まで「研究科」、平成12年度以降「学府」と記載する。 *中途退学＝「退学」、単位修得の上退学＝「単位修得退学」と記載する。 *<u>研究生歴は学歴に記入しない</u>（研究生歴に含める）。 </p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 新制大学卒業または最終学歴から順に記載する。(前歴は不要) </p>
<p>職 歴</p>	<p>平成26年4月1日 ××株式会社 採用</p> <p>平成27年4月1日 ◎◎株式会社 (旧名××会社 平成26年10月1日社名変更) ○○研究所 配置換</p> <p>平成28年3月31日 同上 退職</p> <p>平成30年4月1日 日本学術振興会特別研究員採用 現在に至る</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> *日本学術振興会特別研究員の期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。 </p>
<p>研究歴</p>	<p>平成24年4月1日 } 九州大学大学院△学府において、○○について研究</p> <p>平成26年3月25日 }</p> <p>平成27年4月1日 } ◎◎株式会社○○研究所において、○○について研究</p> <p>平成28年3月31日 }</p> <p>平成28年4月1日 } 九州大学大学院○学府において、研究生として○○に</p> <p>平成29年3月31日 } ついて研究</p> <p>平成29年4月1日 } 九州大学大学院○学府において、○○について研究</p> <p>現在まで }</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> *研究した事項とその期間を明記する。 *学歴及び職歴に記載した期間中に研究歴に該当する場合は記載する。 </p>
<p>年月日を記入する</p>	<p>上記のとおり相違ありません。 令和2年2月15日</p>
<p>氏 名 ○○ ○○</p>	

氏名

- 1) 日本国籍者の氏名については、ふりがな・漢字・アルファベットを、外国籍者の氏名については、カタカナ・アルファベットを必須とし、漢字もあれば記載すること。(氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。)

(例)

①日本国籍の場合

きゅうだい たろう
九大 太郎
Kyudai Taro

②中国・韓国等(漢字圏)の場合

ホアンツ ウエイ (カタカナ)
Hyang Chih Wei (アルファベット)
黄 志 偉 (漢字)

③(非漢字圏)の場合

モハメッド アブドゥル (カタカナ)
Mohammed Abdul (アルファベット)

- 2) 「履歴書の氏名欄」に記載されている表記を博士学位論文審査申請関係書類における氏名の基準とする。よって、関係書類は「履歴書の氏名欄」に記載されている氏名表記のうち、漢字・カタカナ・アルファベットのいずれかを用いて作成すること。
- 3) 氏名表記に使用する漢字は、日本国の常用漢字とする。

生年月日

→ 「和暦」及び「西暦」を記載する。例：昭和51(1976)年1月1日
平成 2(1990)年1月1日

本籍(都道府県)

→ 都道府県名(外国籍者は国籍(国名))のみを記載する。
国名は、在留カードにある国名表記を原則とする。
※中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」等

現住所

→ 住民票に記載されている住所を(郵便番号)及び都道府県名から記載する。
郵便番号、団地名、宿舍名、番号等を正確に記載すること。また、提出後変更があった場合は、速やかに届け出ること。

学歴

- 1) 新制大学卒業以後または最終学歴から、年月日の順を追って正確に記載すること。
- 2) 入学・修了等の年月日に合わせて、大学名、学部・研究科名、学科・専攻名、修士課程・博士課程・博士後期課程の別を記載する。
- 3) 本学における大学院入学・進学の違いに注意する。(→様式1-1の説明を参照。)
在籍中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と区別して記載する。
- 4) 本学大学院研究科の再編時期について、以下、注意すること。
昭和60年度入学者(～S61.3.31)まで「医学研究科」、それ以降は「医学系研究科」
平成11年度入学者(～H12.3.31)まで「研究科」、それ以降は「学府」
- 5) 研究生歴は学歴に含めない(研究歴に含める)。

職歴

- 1) 年月日の順を追って、採用・退職等を記載する。
在職中の場合は、最後に「現在に至る」を記載する。
- 2) 常勤の職について記入する。
但し、非常勤の職であっても、特に研究に関するものについては記載できる。
- 3) 職歴がない場合は、「なし」と記載する。
- 4) 日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。
- 5) 在職中の会社や組織の名称変更がある場合は、以下のように記載する。
(例)「△△会社 (旧名××会社 平成●年●月●日社名変更)」
「××会社 (平成●年●月●日△△会社に名称変更)」等
- ※「九州大学医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院 (呼称：九州大学病院)」の名称は、平成15年10月から使用。
- 6) 九州大学でのTA (ティーチング・アシスタント) 及びRA (リサーチ・アシスタント) は職歴には記載しない。

研究歴

- 1) 研究した事項とその期間を明記すること。学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。
- 2) 修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。
但し、研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。
- 3) 同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。
(例) 九州大学大学院工学府及び日立製作所中央研究所において、△△△に関する研究
- 4) 研究継続中の場合は、「現在まで」と記載する。
- 5) RA (リサーチ・アシスタント) は研究歴に含めることもあるが、九州大学でのRAについては、研究歴に含めない。(TAは研究と関係ないので含めない。)
- 6) 個人的に研究室にて指導を受けた場合については、研究歴に含むことができない。(研究生として在籍すべき)